



やまがた



高校卒業と同時にヘアスタイリストの道に入り、修業時代を含めると美容師歴26年という大ベテラン。

「独立は考えてなかったんですよ」という高山さんだが、修業時代から大切にしてきた縁に後押しされ、1999年に大庭駅近くへヘアサロンPasso Hairをオープンした。

そんな高山さんの腕と人柄を求めて、常連さんたちが今日もサロンのドアを開ける。
(3月11日 ヘアサロンPasso Hair)

働姿

この道一筋

高山 もとし 素さん (下竹田)

告知板

◆春の分館スポーツ大会◆

- 4月15日(日) 上竹田
- 4月29日(日) 小坂
- 5月5日(土) 下大池
- 5月6日(日) 中大池
- 5月13日(日) 上大池
- 5月20日(日) 下竹田

詳細な場所、時間、種目などは各分館にお問い合わせください。

◆平成30年度版生涯学習カレンダーの配布について◆

連絡班未加入の世帯には、教育委員会から送付されるハガキと引き換えに無料でお渡しします。ハガキをご持参のうえ、トレーニングセンター窓口にお越しください。また、それとは別にカレンダーの追加購入希望がありましたら、1部500円での販売となりますので、ご承知おきください。



2月18日(日)、中大池分館社会部主催の「お達者ふれあい会」が語り部の館で行われました。社会福祉協議会によるレクリエーションを楽しんだ後、参加者みんなで長寿を祝う巻き寿司を作りました。長さが4mを超えるお寿司が完成し、お寿司を食べながら親睦を深めました。

3月10日(日)、ミラ・フー ド館でふるさと伝承館主催の歴史講演会が開催されました。当日は、信州大学学術研究・産学官連携推進機構の土田拓先生をお招きし、「お嫁の実感〜昭和世代、私たちの嫁入り暮らし〜」と題し、当時の全国各地の嫁入り事情についてお話をいただきました。昭和51年当時の館報やまがたに掲載された独身女性へのアンケートを交えた話もあり、参加者は興味深く聴き入っていました。



歴史講演会

子どもたちとの向き合い方を学びました

3月11日(日)、トレーニングセンターにて、スポーツ団体連絡協議会主催の講演会が開催されました。松本大学サッカー部監督で臨床心理士でもある齊藤茂さんを講師にお招きし、スポーツ指導の現場で役立つ臨床心理学を学びました。



サラダ街道合唱団

3月4日(日)、ミラ・フー ド館において「第20回サラダ街道合唱祭」が行われました。歴史あるこの合唱祭に今年は12団体が参加。春の訪れを待ちわびるかのようには、春の歌などをとて気持ちよさそうに唄う声が会場に響きました。



小坂わろてんかライブ

2月18日(日)、社会部主催の「小坂あつたか広場」が行われました。村内で結成されたバンド「DOGGYSTYLE」の生演奏と、太田プロダクション所属のファンタジーマーニングの漫才を楽しみました。ほかに、抽選会やレクリエーションを行い、来場者は終始笑いに包まれていました。



中大池お達者ふれあい会

山すそ

巣立ちの時期、娘が大学進学を決め、4月から親元を離れて新しい生活を始める。高校三年間は妻の実家から通学していたため顔合わせるのはもっぱら週末のみ。この一年間は受験勉強に集中するため山形に戻り、松本の予備校に通うことにした。駅への送り迎えは、私の日課となった。特段多くの会話をするわけではないが、往復1時間弱の道のりを同じ空間にいられることがとても幸せであり、4月からいつもいるはずの助手席に娘がいないことを考えるとどこか寂しい▼そして私もこの3月をもって編集部を卒業する。館報やまがたを毎月楽しみにしてくださっている村民のみなさんを思い、村中を駆け回った七年間だった。その間取材を通して多くの方と出会い、様々なことを学ばせていただいた。私にとつての宝物だ▼館報七不思議をあばくこと、前例のない山すそ「二段を書き上げる」と、800号に携わることなどやり残したことはまだまだあるが、それは、これからの編集部仲間へ託し、そつとペンを置くことにする。

図書館からのお知らせ

*好評につき、毎月開きます。
「わらべうたの会 せっせっせ」
4月からわらべうたの会を毎月行うことになりました。

第2金曜日 10:30~11:00

トレーニングセンター「教養室」
「おはなしの会こぐま」は引き続き第1・3金曜日に行います。
金曜日には図書館へGO!

*「家庭菜園のコツ」講座
今年も公民館と共催で、全2回行います。1回目は次の日程です。

4月21日(土)10:00~11:30

トレーニングセンター

「ふるさと大ホール」

講師：農山漁村文化協会
齋藤辰徳さん

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.34

編集=山形村図書館

当日参加もいっぱい！ 大盛況「パーマカルチャー講座」

春の雪が降った3月10日(土)、トレーニングセンターめばえの部屋は、図書館講座「パーマカルチャー」人の暮らしが環境を豊かにしていく」の参加者で大にぎわいでした。30人余りのみなさんが積極的に質問しながら、講師の話に耳を傾けました。

まずは『パーマカルチャー農的暮らしの永久デザイン』（ビル・モリソン著 農文協）の翻訳者、小祝慶子さんのお話。ビル・モリソンとのエピソードや、彼の「その土地に合ったデザイン、農法がある。日本の先達に謙虚に学んでほしい。」という思いを伝えてくださいました。

続いて、山梨県北杜市で、パーマカルチャーを実践している四井真治さんの登場です。4人家族の

暮らしぶりを紹介していただきました。生活排水を浄化するシステム「バイオジオフィルター」の作り方や、生き物がもどってくるビオトープのエピソード。堆肥小屋でヤギや鶏を飼い、竹を伐採してヤギのエサや薪ボイラーに利用するなど。具体的な実践と工夫に、みなさん興味津々です。

「人間は、ほかの生き物に支えられるばかりではなく、ほかの生き物とともに場を豊かにすることができる存在だ。」というメッセージが伝わる講座になりました。

四井さんが実際に使っているシステムやモノの作り方などがわかる本も図書館に入りました。「人をふくめた生態系」をつくるための、「暮らしのテキスト」ともいえます。こちらもご利用ください。
『地球のくらしの絵本』①②③④⑤
四井真治（農文協）



私のこの一冊

図書館利用者 田中 美穂

『九十歳。何がめでたい』

佐藤愛子（小学館）

BOOK総合
部門2017年
間1位となった

この本の著者である佐藤さんが、私の祖母とほぼ同い年というところに惹かれ読んでみました。日常的な話があったり、いろいろな話があったり、いろいろなジャンルのお話をズバツと斬り込んでいて、読んでいて気持ちよかったです。



人生の大先輩の言葉はスツと胸に入ってきて、とても励まされ、心が軽くなる場面が何度もありました。泣いて笑って一気に読み進められ、パワーをもらえる本です。みなさんもぜひ一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

おすすめ新着本紹介

『さかなのたまご いきのこりをかけただいさくせん』

内山りゅう（ポプラ社）

川の中をのぞくと、魚たちはあの手この手で卵を守っています。貝に管を差し込んで卵を産むニッポンバラタナゴ、オヤニラミに自分の卵も守らせる、ち



ちで、犬やくまたちと暮らしていました。あるとき、大雨で町が海のようになってしまう、ツイグリーさんは、町の人たちを助けようと大奮闘。アメリカで50年間愛されている絵本です。

『そして、パトンは渡された』
瀬尾 まいこ（文藝春秋）
父親が3人、母親が2人。血の繋がらない親の間をリレーされ、しかしいつでも両親を愛し、愛されていた森宮優子。心温まる物語。



『バッタを倒しにアフリカへ』
前野ウルド浩太郎（光文社新書）
バッタ被害を食い止めるため、そして「バッタに食べられたい」という野望をかなえるためにサハラ砂漠に乗り込んだ昆虫学者が、バッタと現地の事情を相手に繰り広げた死闘の日々をつづりました。2018新書大賞に選ばれました。



『さかなのたまご』の卵を守るニッポンバラタナゴ、オヤニラミに自分の卵も守らせる、ち



児童の夢

6年1組

<p>○ ほんまに呼び出す 保育士 相澤 島</p>	<p>○ 心が広い ゲーム社員 若井 晴</p>	<p>○ 笑顔を笑顔にする 本屋さん 内田 雄織</p>	<p>○ 声の種類がめっちゃある 人気声優 手塚 雅</p>	<p>○ 人を笑顔にする 美容師 宮澤 瑞歩</p>	<p>○ 花のこを一番に考える 花屋さん 版部 五奈</p>	<p>○ 人を笑顔にする 野球選手 中村 夢夢</p>	<p>○ 世界に羽ばたく 野球選手 小林 咲太郎</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>
<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>
<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>
<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>	<p>○ 人を笑顔にする ゲームクリエイター 藤原 大登</p>

6年2組

<p>○ 絵に関わる仕事に就きたい 蓬澤 ころ</p>	<p>○ 将来の夢は一番楽しいと思える人生を見つけてください。 青沼 花楓</p>	<p>○ 敬言寮になりたい 荒木 ななせ</p>	<p>○ サッカー選手になる 長村 琉輝</p>	<p>○ 将来の夢保去自士 中村 夢</p>	<p>○ 車の整備士になる 神通川 優翔</p>	<p>○ サッカー選手になる 下川 隼人</p>	<p>○ ファンションデザイナーになる 笠巻 夢愛</p>	<p>○ 浦和レッズのゴールキーパーになる 清水 遠大</p>	<p>○ 野球選手になる 中村 夢夢</p>
<p>○ 大型クラブの運転手になる 長谷川 琉</p>	<p>○ 看護師になりたい 野口 夢</p>	<p>○ 調理師になる 森井 琉星</p>	<p>○ 陸上選手になる 山崎 陽</p>	<p>○ プロ野球選手になる 本木 悠大</p>	<p>○ 自分に合う仕事につきたい もたい 菜々美</p>	<p>○ サッカーの選手になる 平沢 陸慶</p>	<p>○ そば屋をひきつめたい 柳 夢</p>	<p>○ 野球選手になる 中村 夢夢</p>	<p>○ 将来の夢は一番楽しいと思える人生を見つけてください。 青沼 花楓</p>
<p>○ 絵に関わる仕事に就きたい 蓬澤 ころ</p>	<p>○ 敬言寮になりたい 荒木 ななせ</p>	<p>○ サッカー選手になる 長村 琉輝</p>	<p>○ 将来の夢保去自士 中村 夢</p>	<p>○ 車の整備士になる 神通川 優翔</p>	<p>○ サッカー選手になる 下川 隼人</p>	<p>○ ファンションデザイナーになる 笠巻 夢愛</p>	<p>○ 浦和レッズのゴールキーパーになる 清水 遠大</p>	<p>○ 野球選手になる 中村 夢夢</p>	<p>○ 絵に関わる仕事に就きたい 蓬澤 ころ</p>
<p>○ 絵に関わる仕事に就きたい 蓬澤 ころ</p>	<p>○ 敬言寮になりたい 荒木 ななせ</p>	<p>○ サッカー選手になる 長村 琉輝</p>	<p>○ 将来の夢保去自士 中村 夢</p>	<p>○ 車の整備士になる 神通川 優翔</p>	<p>○ サッカー選手になる 下川 隼人</p>	<p>○ ファンションデザイナーになる 笠巻 夢愛</p>	<p>○ 浦和レッズのゴールキーパーになる 清水 遠大</p>	<p>○ 野球選手になる 中村 夢夢</p>	<p>○ 敬言寮になりたい 荒木 ななせ</p>

山っこ情報局

それぞれのステーションから旅立つ3月。別れの季節でもあります。新しい出会いの始まりでもあります。「山っこ」たちの成長した姿に頼もしさを感じると共に、更なる飛躍を願っています。

6年生学習発表会

3月2日(金)、6年生の学習発表会が行われました。小学校生活最後の参観日でもあり、子どもたちが発表会の内容を考え、飾り付けも工夫をして準備を行ってきました。各クラスでは、今年一年間

ジュニアリーダー まごめの会

3月4日(日)、トレーニングセンターで子ども会育成会のジュニアリーダーまごめの会が行われました。最初に行われた修了式では、田村守康会長から修了証書と記念品が渡されました。その後のグループワークでは、活動を通じて感じた魅力や、自信につながったことなどを話し合い、そ

思い出いっぱいの通学路

卒業式を一週間後に控えた、登校時の風景です。六年間通い続けた通学路ともお別れです。1年生の頃は長いと感じた学校までの道程、友だちとたくさん話をしながら歩いたこと、時にはいたずらをしながら帰ったこともあったかな?それも、これもない思い出ですね😊



『とちの実』も卒業へ

小学校の学校文集として発行されて来た「とちの実」が、本年度の47号をもって廃止となることになりました。新学習指導要領の実施に伴い、「とちの実」作成に費やす時間の確保が難しくなったことなどが理由のようです。

のできごとを発表したり、家族への感謝の気持ちを伝えたりしました。発表会での子どもの姿に、六年間の成長を感じた保護者の皆さんでした。



れぞれ発表をしました。本年度のジュニアリーダーは5名と少ない人数でしたが、チャレンジ広場の企画・運営総合文化祭でのワークショップ出展などを経験して、ひと回り成長した姿が見られました。



山形小学校 82名



感謝の思いと
新たな希望を胸に

卒業式

3/14(水)鉢盛中学校
3/15(木)山形小学校



鉢盛中学校 146名
(山形 83名)



- おめでた(子・親)
- 高山 心春・素 素
 - 三枝 航・貢 小坂
 - 湊 一樹・直也 下竹田
 - 上條 詩織・政彰 中池
 - 上條 由梨
 - おきやみ
 - 上條 大悟・上竹田
 - 常田 正雄・上竹田
 - 望月 幸くよ・小坂
 - 唐沢 盈・上竹田
 - 鈴木 光子・上竹田

風 (敬称略)



昭和53年当時のとちの木



全児童の作文が載った文集に、想い出深い方も多いことでしょう。文集の名前は、旧校舎の頃に現在の体育館北側にあった『とちの木』が由来でした。

今月の声

山形村初(発)地域おこし協力隊として

地域おこし協力隊 坂野 岳人



広報などではお知らせしていましたが、この度、山形村で第1号となる「地域おこし協力隊」となりました坂野 岳人(ばんの たけと)です。

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

現在、各自治体により様々な活動やミッションがあり、今回ここ山形村でのワタシのミッションは、人・モノ・コトなどの「情報発信」という、ふんわりしたものとなっています。

昨年11月から山形村に来て4ヶ月が経ち、本当に徐々にではありますが慣れてきたところです。これから春夏に向けて、風景を楽しみ、食べ物を楽しみ、イベントを楽しみながら山形村の魅力を伝えていきたいと思っています。

こちらからも顔を出しに行きますが、様々なところに顔を出していきたいので、呼んでください。

そして世界に発信していきます。ここで自己紹介を少しします。

東京生まれ東京育ちの39歳、村に来る前は埼玉県川口市に住んでいました。元々料理が好きなので栄

養士の専門学校に行き、栄養士の仕事に就いていましたが、向いていないと思い、興味から携帯電話の世界へ。そのまま20年近く、現在もそうですが、携帯電話とwebの世界で仕事をしています。

携帯電話業界では、全キャリアを渡り歩いて販売・営業・企画・運営・管理などを経験し、格安スマホの運営にも携わっていました。

webに関して興味があり、ガラケー(折り畳みの携帯電話「モノクロ」の時代からホームページを作ったりして、情報を発信していました。携帯電話もwebも時代とともに

移り変わり、ガラケーからスマートフォンへ、PCからレスポンス(スマートフォンを優先してPCでも見やすい)へと変化しています。それに伴って発信も変化し、SNSや動画が主流の「いま」。

魅力的で分かりやすく見やすくを大切にインパクトや話題性、面白さを重視して発信しています。

広報でもお伝えしましたが、みなさんが当たり前のこと、普通のことを教えてください。

それが見る人にとって魅力であったり惹かれるものであったり、来る動機だったりします。(逆もありま

す;) そのためにも中だけでなく外にも目を向け、広い視野で山形村を盛り上げていきましょう!

2/14 2/21 心書講座・中級編 トレセン・めぼえの部屋



初級編を体験した方を対象に中級編を開催しました。心書の楽しさを知って、素敵な作品がたくさん誕生しました。

2/18 長いも料理教えます トレセン・食堂

山形村で最も身近な食材の一つである長いもですが、いざ調理するとなるとレパートリーがなくて困った経験はないでしょうか?この教室では主菜、副菜、デザートに至るまで、長いもを使った様々なレシピを教えてくださいました。



1/23 2/13 2/27 3/13 マグネット吹き矢 トレセン・ふるさと大ホール



吹き矢は腹筋を使って矢を放ちます。25本吹くと、ウォーキング30分と同じくらいの効果があると言われています。マトに矢を当て点数を競いますが、合計点数を計算することで脳の活性も期待できます。



公民館講座

2/25 やしよま作り講座 トレセン 食堂

やしよまは、色を付けた米粉の団子を組み合わせる伝統的なお菓子です。金太郎飴同様、切って断面を見るまでどんな出来上がりになっているのか分かりますが、それが楽しみの一つなのかもしれません。ちなみに食いしん坊の筆者Kは、蒸し上がった米団子の得も言われぬ香りの方に心を鷲掴みにされていました。



